

TCHP療法を受けられる患者様へ

TCHP療法について

この療法は、ペルツムマブ(商品名;パージェタ:P)、トラスツマブ(商品名;ハーセブチン:H)、ドセタキセル(T)、カルボプラチン(C)の4種類の注射薬を使用します。ペルツムマブ、トラスツマブは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。ドセタキセルとカルボプラチンは、がん細胞に直接作用し、がん細胞の増殖を抑えます。

投与スケジュール

1日目に点滴を投与します。
21日間を一区切り(1コース)とします。

抗がん剤
投与
1日目

休薬
20日間

1コース目

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

ペルツムマブ 420mg

分子標的薬です。
初回は60分、2回目以降は30分かけて投与します。

生理食塩液

初回のみ経過観察のため投与します。
60分かけて投与します。

トラスツマブ (mg)

分子標的薬です。
初回90分、2回目以降30分かけて投与します。

生理食塩液

初回のみ経過観察のため投与します。
30分かけて投与します。

デキサメタゾン

吐き気とむくみを予防します。
30分かけて投与します。

パロノセトロン

ドセタキセル (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

カルボプラチン (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。



お薬を続けていくと爪がでこぼこになったり、もろくなります。冷やすことで予防できますので、抗がん剤投与前からフローズングローブ・ソックスを着用します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

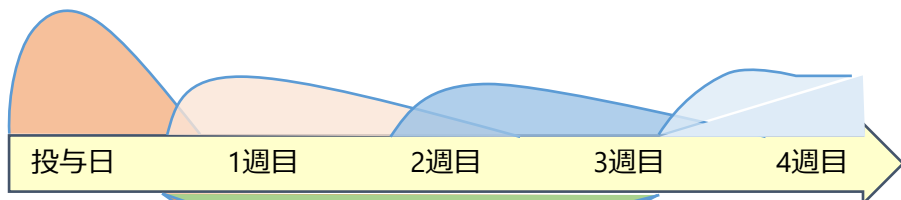
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 浮腫
味覚の変化
末梢神経障害
爪の変形

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。
手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗い・うがいをしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。必要に応じて心臓の検査をします。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			

吐き気とむくみ予防のお薬です。症状が無くても服用してください。

自覚できない副作用